

令和3年度 集合形式での研修受講にあたって

社会福祉法人 石川県社会福祉協議会

1 本会では、新型コロナウイルス感染症発生に伴い、受講者の安全確保を図るため、次の対策を行います。

- (1) 研修の定員は100人以下かつ研修室の収容人員の半分以下の人数とします。そのため、申込者数が定員を超過した場合は、市町から推薦のあった方を優先し、その他定員の範囲内で直接申込みのあった者の中から、現在医療的ケア児等に係る業務に従事している者を優先します。
- (2) 受付前に非接触型体温計による検温を実施し、37.5度以上の方は、参加不可といたします。
- (3) 手指用アルコール消毒液を会場出入口に配置いたします。
- (4) 会場の換気等を適宜行います。
- (5) 受講者間の距離を確保した座席の配置を行います。
- (6) 職員はマスク着用で対応いたします。

2 受講者の皆様へお願い

- (1) 受講確定後、次に該当する方は、参加を控えて、速やかに下記事務局へ連絡してください。
 - ・発熱や風邪症状などがあり体調不良の方
 - ・研修日前2週間以内に感染が拡大している地域を訪問した方及び当該地域からの来訪者と濃厚接触した方
 - ・身近に感染が疑われる方がいる場合や、所属法人・施設等から受講の自粛を求められている場合など、新型コロナウイルス感染症の影響により受講が難しくなった方
- (2) 各自でマスクを必ず用意の上、着用してください。マスクをしていない場合は、参加をお断りいたします。
- (3) こまめな手洗い・うがい・咳エチケット、備え付けの消毒液の使用、休憩時間においても受講者間の距離を取り、会話も出来る限り控えるなどの感染症対策にご協力をお願いいたします。
- (4) 保健所等より要請があった場合は、必要な情報を提供することがありますので、予めご了承ください。

※本書は、6月24日時点のものであり、今後の状況に応じて随時見直しを行います。

令和3年度 石川県医療的ケア児等 コーディネーター養成研修 募集要綱

1. 目的

人工呼吸器を装着している障害児、その他日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児や重症心身障害児等（以下「医療的ケア児等」という。）が地域で安心して暮らせるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成することを目的として実施するもの。

※ 本研修は、障害福祉サービス等報酬における「要医療児者支援体制加算」の対象研修です。

2. 主催

石川県

3. 実施機関

社会福祉法人石川県社会福祉協議会

4. 開催日程

1日目：令和3年12月2日（木） 10時～17時30分（講義・演習）

2日目：令和3年12月3日（金） 10時～17時30分（演習）

※ 2日間ともに、受付は9時30分からです。

5. 会場

福祉総合研修センター 4階 第1研修室

金沢市本多町3-2-15（県立図書館4階）

※ 県立図書館前や県社会福祉会館前の駐車場は、研修受講生の利用を禁じております。
各自で周辺の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用願います。

6. 定員

30名程度

※ 定員を超えての申込みがあった場合は選考とさせていただきます、現在医療的ケア児等の支援を行っている方を優先とします。

7. 受講対象者

(1) 「石川県医療的ケア児等支援者養成研修」の全日程（2日間）を修了した者

(2) 石川県内に所在する事業所等の相談支援専門員、保健師、看護師等で、医療的ケア児等の支援を行っている者、もしくは行う予定のある者

※ 障害福祉サービス等報酬における「要医療児者支援体制加算」の対象となる医療的ケア児等コーディネーターの認定を希望する場合は、本研修を必ず受講する必要があります。

8. 受講費用

無 料

9. 参加申込方法

石川県社会福祉協議会ホームページから、下記期日までにお申込みください。

申込手順は下記の通りです。

※申込期限 10月27日(水)

- ① 石川県社会福祉協議会ホームページ (URL : <http://www.isk-shakyo.or.jp/>) の上部メニュー **福祉の研修** をクリックします。
- ② 「研修新着情報」から受講希望の研修名をクリックすると、「検索結果」が画面の下方に表示されます。
- ③ 受講希望の研修であることを確認の上、右欄の **申込** をクリックすると、「研修申し込み」が表示されます。
- ④ 必要事項 (※印は必須項目) を入力後、**申込確認画面へ** をクリックし、入力内容を確認の上、**申し込む** をクリックして、申込み完了です。
- ⑤ 申込み後、すぐに「受付確認書」がメールで送信されます。
メールが届かない場合は、メールアドレスが正しく入力されていない可能性がありますので、福祉総合研修センターまでご連絡ください。
なお、「受付確認書」は受講を承認するものではありません。後日、「受講選考結果」がメールで送信されます。

10. 「研修申し込み」画面に入力する際の注意事項

- (1) 「種別」、「職種」欄で該当するものがない場合は、その他を選び備考欄に入力してください。
- (2) 「推薦順位」欄は、受講希望者が同一職場内で複数いる場合に入力してください。
- (3) 「生年月日」欄は、修了証書に記載しますので、必ず入力してください。
※ 本人確認等で必要となりますので、お間違えのないようご注意ください。
- (4) 「支援者養成研修の受講年度」欄は、「石川県医療的ケア児等支援者養成研修」の全日程 (2日間) を受講した年度を入力ください。
※ 全日程 (2日間) は、同一年度に受講いただく必要があります。
- (5) 「職種が「看護師」の方」欄は、「病院看護師」か「訪問看護師」か「保育園内での看護師」かご入力ください。
- (6) 「受講上の合理的配慮」欄は、受講上の合理的配慮事項があれば記載ください。(車いす使用、介助者同行 等)

11. 受講承認

定員の範囲で受講者を承認し、結果は **11月11日(木)頃** に、研修申込時に入力されたメールアドレスに通知します。

- ※ 受講承認日が過ぎても「受講票」が届かない場合は必ず当センターにご連絡ください。
- ※ 選考基準の参考とさせていただくため、1事業所から複数人お申し込みの場合、推薦順位の入力をお願いします。

12. 事前課題

演習では、各事業所での医療的ケア児等の支援で困っているケースをお持ちいただき、事例検討等を行います。別に定める様式を記入し、研修当日に紙で10部ご持参ください。

13. 修了証書

本研修および「石川県医療的ケア児等支援者養成研修」を含むすべての研修課程を修了した者（以下、「医療的ケア児等コーディネーター」）には、修了証書を交付します。

- ※1 受講態度が著しく不良である場合（居眠りや受講中の携帯電話の使用等）は、退席を求める場合があります、修了証書を交付できない場合があります。
- ※2 修了証書には、ご入力いただいた生年月日・受講者氏名が記載されます。本人確認等で必要となりますので、必ずお間違えのないようご注意ください。

14. 個人情報の取り扱い

本研修において知り得た個人情報については、本研修の運営に係る目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

15. その他

- ※ 原則として、30分以上の遅刻、不在、早退等の場合は、欠席とみなします。
ただし、天候や交通機関の遅れ等によりやむをえない事情がある場合は、この限りではありません。
- ※ 受講態度が著しく不良である場合（居眠りや受講中の携帯電話の使用等）は、退席を求める場合があります。

【参考図書】本研修では直接使用しませんが、講義や演習の参考としてお示しします。

- ・医療的ケア児等支援者養成研修テキスト（中央法規出版）
- ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修テキスト（中央法規出版）
末光 茂・大塚 晃 監修

<問合わせ先>

- ・申込み内容に関すること

〒920-0964 石川県金沢市本多町3丁目2-15

石川県社会福祉協議会福祉総合研修センター 担当：谷内

TEL：076-221-1833 FAX：076-221-1834

- ・受講要件、研修内容に関すること

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

石川県障害保健福祉課 自立支援グループ 担当：山田

TEL：076-225-1428

研修カリキュラム（予定）※変更になる場合があります。

1日目：令和3年12月2日（木）

科目	内容	到達目標
—	オリエンテーション	研修のイメージをつかむ。
支援体制整備	①支援チーム作りと支援体制整備/支援チームを育てる ②支援体制整備事例 ③医療、福祉、教育の連携 ④地域の資源開拓・創出の方法	ひとりひとりの支援に対しての体制整備をしていく「ミクロな視点」と、地域の課題を解決するための体制整備をしていく「マクロな視点」を理解する。
計画作成のポイント	演習に向けた計画作成のポイント	これまでの講義をもとに、計画作成のポイントをおさえる。
演習(計画作成)	事例をもとにした計画作成の演習	事例をもとに、当事者のニーズの把握し、意向に沿った計画作成を行う。
	グループごとに検討する事例の発表 ※選んだ事例の意図を説明	

適宜休憩があります

2日目：令和3年12月3日（金）

科目	内容	到達目標
演習(事例検討)	事例をもとに、意見交換(グループディスカッション)・スーパーバイザーによる計画作成の指導	グループで事例を検討し、当事者の意向に沿った計画作成、関係機関との調整のイメージをつかむ。
	中間発表	
演習(事例検討)	事例をもとに、意見交換(グループディスカッション)・スーパーバイザーによる計画作成の指導	グループで事例を検討し、当事者の意向に沿った計画作成、関係機関との調整のイメージをつかむ。
	最終発表 まとめ・講評	

適宜休憩があります

※本人や身の周りの状況、現在直面している課題について記入してください。

医療的ケア児本人	Aさん	才 (男・女)
家族構成 (両親・兄弟・その他)	本人の好きな事・嫌いな事	本人の夢や希望
発達や発育の状況治療・療育の経過		
提出理由 <ul style="list-style-type: none"> ・困っている事 だれが (本人、家族、支援者) どのように ・検討して欲しいこと、アイデアの欲しいこと 		
サービス利用状況、利用事業所の支援方針		